

リハビリテーションスタッフの卒後教育に求められること

風晴 俊之¹⁾ 藤田 真介¹⁾ 中島 崇暁¹⁾ 腰塚 洋介¹⁾ 美原 盤²⁾

1)脳血管研究所美原記念病院 リハビリテーション科

2)脳血管研究所美原記念病院 病院長

【目的】当院リハビリテーション科には毎年 10 名前後の新卒者が入職する。1 年間の新人教育体制が構築されており、教育期間終了後、新人による教育体制の評価を行っている。スーパービジョンを中心としたマンツーマンの教育体制であり、症例検討、テーマ別の勉強会の開催なども実施している。今回、新人の評価をもとに、今後のリハビリテーション科の教育体制を検討した。

【取り組み】直近 5 年分、50 人の新人による教育体制の評価を集計した。教育に対する評価は比較的高く、教育体制の充実も入職の決め手となっていた。教育を、受けたいと考える新人は多く、実技指導などの勉強会導入に関する意見も多かった。「してもらいたい」、「してほしかった」などの回答が多く見られ、本人の自発的な学習機会を促していくことが今後の課題として挙げられた。